



日建連表彰
土木賞

受賞案件 2020 (第1回)

日建連表彰「土木賞」

日建連では、1960年に創設した建築分野のBCS賞の表彰をしています。
2011年に新・日建連の発足以降、土木・建築の両分野に活動の場が拡がっていることから活動領域を踏まえた新しい表彰制度として「土木賞」を設けることとしました。



湖陵多伎道路 多伎PC上部工事



橋梁工事の生産性向上・品質管理への取り組み

小規模工事ながら、生産性向上のためにCIMを積極的に取り入れ、それを複合現実技術と連携させることにより現場作業や出来形・品質管理作業の効率化や省人化に成功。“モノづくりの原点”として施工プロセスを支える技能労働者の作業の効率化を徹底した点が優れており、特別賞に値するものとして評価されました。

【工 種】橋梁(上部) 【施工者】株式会社IHIインフラ建設 【着工年月】2018年1月
【所在地】鳥根県出雲市 【関係者】株式会社北部組 【竣工年月】2019年1月
【発注者】中国地方整備局松江国道事務所 オフィスケイワン株式会社
【設計者】中国地方整備局松江国道事務所 千代田測器株式会社



春の大山/鳥取県

写真提供:鳥取県

建設業で活躍する女性の 愛称・ロゴマーク

ヘルメットをオレンジ系の花びらに見立て、建設業で明るく活き活きと活躍する女性を表現しています。5枚の花びらは、建設業の重要なファクターであるQ(品質)、C(費用)、D(工期)、S(安全)、E(環境)に因んでいます。
けんせつ小町の愛称ならびにロゴマークは日建連の登録商標です。



一般社団法人
日本建設業連合会ホームページ
<http://www.nikkenren.com/>

一般社団法人 日本建設業連合会(日建連)は、全国的に総合建設業を営む企業及びそれらを構成員とする建設業者団体が連合し、建設業に係る諸制度をはじめ建設産業における内外にわたる基本的な諸課題の解決等に取り組んでいます。

一般社団法人 日本建設業連合会 中国支部会員名簿

(五十音順 2021年3月19日現在)

アイサワ工業株式会社	広成建設株式会社	株式会社竹中土木	株式会社福田組
青木あすなる建設株式会社	株式会社鴻池組	鉄建建設株式会社	株式会社フジタ
あおみ建設株式会社	五洋建設株式会社	東亜建設工業株式会社	株式会社不動テトラ
株式会社安藤・間	佐藤工業株式会社	東急建設株式会社	株式会社本間組
岩田地崎建設株式会社	清水建設株式会社	東洋建設株式会社	前田建設工業株式会社
梅林建設株式会社	ショーボンド建設株式会社	戸田建設株式会社	松尾建設株式会社
株式会社大本組	株式会社銭高組	飛島建設株式会社	三井住友建設株式会社
株式会社大木組	大旺新洋株式会社	西松建設株式会社	みらい建設工業株式会社
株式会社奥村組	大成建設株式会社	日特建設株式会社	村本建設株式会社
オリエンタル白石株式会社	大成ロテック株式会社	日本国土開発株式会社	株式会社森本組
鹿島建設株式会社	大日本土木株式会社	日本道路株式会社	株式会社吉田組
株式会社クボタ建設	大豊建設株式会社	株式会社NIPPO	りんかい日産建設株式会社
株式会社熊谷組	株式会社竹中工務店	株式会社ノバック	若築建設株式会社

発行：一般社団法人 日本建設業連合会 中国支部 広報委員会
〒730-0051 広島市中区大手町2丁目11番15号新大手町ビル4F TEL (082) 243-3017 2021年3月発行

建設中国



ANNUAL REPORT 2021 Vol.36

- ごあいさつ P1-2
- 現場に行ってきました！高速5号線シールドトンネル工事 P3-8
- 工事現場で活躍 けんせつ小町 女性技術者が現場を変える！ P9-24
- 一般社団法人 日本建設業連合会 中国支部の活動報告 P25-26
- 特別レポート 世界遺産「原爆ドーム」を未来へ守り継ぐ P27-31



工事名:国道178号(岩美道路)橋梁上部工事(浦富高架橋2工区) 発注者:鳥取県
施工者:横河ブリッジ・横河住金ブリッジ特定建設工事共同企業体

写真提供:鳥取県 県土整備部



確かなものを 地球と未来に
一般社団法人 日本建設業連合会 中国支部
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

安心・安全な鳥取県の県土づくり

一般社団法人日本建設業連合会中国支部会員の皆様には、日頃より鳥取県の土木行政の推進にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、鳥取県は、青く澄み渡る日本海と緑豊かな山々に囲まれており、鳥取砂丘や山陰海岸ジオパーク、中国山地最高峰の大山など大自然の魅力にあふれています。一方、近年は自然災害による被害が頻発化しており、「安心・安全な県土づくり」が喫緊の課題となっています。

このため、2016年3月に「鳥取県国土強靱化地域計画」を策定し、いかなる自然災害が起こっても安心・安全で機能不全に陥らない地域・経済社会を構築するため、ハード・ソフト両面から国土強靱化に資する取り組みを推進しているところです。

主な取り組みとして、道路整備では、災害からの迅速な復旧と早期の日常生活・経済活動再開のため、また、南海トラフ地震を想定した太平洋側のリダンダンシー確保の観点から、山陰道等の「高速道路ミッシングリンク」の早期解消や岩美道路等の「地域高規格道路」整備を推進しています。

河川・砂防整備では、河川改修やバックウオーター区間の河道掘削・樹木伐採、砂防堰堤等の整備を順次実施しており、今後も、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を活用し、集中的に整備促進を図ることとしています。さらに、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化に対応するため「流域のあらゆる関係者（行政・住民等）で取り組む流域治水」を推進することとしています。

港湾整備では、重要港湾「境港」・「鳥取港」の整備を



鳥取砂丘 写真提供:鳥取県

進めており、境港では、2020年4月に「境夢みなどターミナル」を供用開始しました。今後も北東アジアゲートウェイとして、また、人流物流拠点として両港の機能強化を図っていくこととしています。

「安心・安全な県土づくり」には建設業の役割は欠くことができません。しかし、本県においても現場の技術者・技能労働者の高齢化や若手入職者の減少により担い手不足が深刻化しています。このため、産学官が連携した「鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会」を2017年に設立し、担い手育成や建設業の魅力発信に向けた取り組みを実施しています。引き続き、皆様と一緒に進めてまいります。

今後も緊張感を保ちながら、県民の命と暮らしを守るため、防災・減災に資する社会資本整備を強力に推進し「安心・安全な県土づくり」に努めてまいりますので、皆様方のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。



鳥取県
県土整備部 部長

草野 慎一
くさの しんいち

【生年月日】

1965(昭和40)年9月24日

【最終学歴】

京都大学 農学部 林学科

【経歴】

1989年4月 建設省入省
土木研究所 土質研究室
2006年4月 広島県 土木建築局 砂防課長
2009年4月 国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所長
2011年7月 国土交通省 中国地方整備局 河川部 河川調査官
2014年4月 国土交通省 中部地方整備局 多治見砂防国道事務所長
2016年7月 国土交通省 水管理・国土保全局
砂防部 砂防計画課 砂防計画調整官
2018年4月 鳥取県 県土整備部 次長
2019年4月 鳥取県 県土整備部 部長

Close up!

日建連の取り組み



現場に行ってきました!

高速5号線シールドトンネル工事

広島高速5号線JV工事事務所(広島市東区)

※撮影のためにマスクを外している場合があります。



私がナビゲート
します!

ナビゲーター

(株)大林組 広島支店
二郎丸裕衣さん
じろうまる ゆい

福岡県生まれ。
九州大学工学部地球環境工学科卒。
2018年(株)大林組入社。

広島高速5号線(県道温品二葉の里線)は現在着々と工事が進められている新しい道路です。私たちはその二葉の里地区から中山地区までのシールドトンネル工事を担当しています。現場の最前線へ、皆さんをご案内しましょう。

都心部と山陽道のアクセス強化、 広島駅周辺の開発促進、メリットいろいろ

注目度の高い
インフラ整備として

これまでに広島高速は1~4号線までが完成しています。残る5号線は2022年度の完成を目指して整備が進められており、総延長は約4km。その中でトンネル区間は約1.8kmを占めていて、そのうちシールドトンネル区間は約1.4kmです。二葉山から尾長山へと掘り進めていき、残りの約400mは反対側からの別工法による別工事となります。

地図を見れば一目瞭然ですが、

5号線が完成すれば、すでに供用している1号線そして山陽自動車道と一体になるため、都心アクセスがぐんとスムーズになります。もちろん広島の東部エリアや広島空港へのアクセスもとても便利になるわけですね。

ほかにも周辺エリアの交通混雑の緩和、安全性の向上、広島駅周辺の開発促進、緊急時や災害発生時の備え、とメリットはいろいろ挙げられます。それだけに広島の皆さんにとっては注目度の高いインフラ整備の1つと言えるのではないのでしょうか。

実施設計から始まり
ヤード造成、マシン組立へ

都市計画としては20年以上前から地元との協議などが重ねられ、工事契約が締結されたのは2016年5月末のことです。

「まずは実施設計からのスタートでした」と、当時のことを中村俊明所長は振り返ります。「詳細な設計・施工計画を半年かけて行い、学識者による施工管理委員会の承認を得て、2017年1月からヤード造成に着手しました。山の斜面に造るため、まずは土留めや仮設の作業ステージを施工して平地を設けたわけです」

その後も坑口を造ったり、プラントを組み立てたり、さまざまな準備工程を経て、2018年1月からシールドマシンの組立が始まります。海外の工場で作られたパーツを現場へ運び込み、夏までかけてマシンを完成させました。



△トンネル入口から広島駅方面を望む



△発進ヤード全景(シールド発進時)

工事概要

工事名 高速5号線シールドトンネル工事

工事場所 広島県広島市東区牛田東三丁目外

発注者 広島高速道路公社

工期 2016年5月31日~2022年7月12日

施工会社 大林・大成・広成 建設工事共同企業体

工事内容 本工事は、広島高速5号線のトンネル部約1,800mのうち、シールドトンネル部約1,400mを掘削外径13.67mの岩盤対応泥水式シールドで構築する工事です。

住宅街に配慮してシールド工法採用。 騒音、振動、地表面変位の計測管理を徹底

シールド工法で地下水を抜かず掘る

シールド工法が採用されたのは、トンネルが住宅街である牛田地区の下を通るためでした。この辺りは花崗岩の硬い岩盤で、一般的には山岳部におけるトンネル工法であるNATM(ナトム)工法の

採用が考えられるのですが、それだと掘削箇所(切羽)は開放状態で地下水を抜きながら掘り進めることになります。

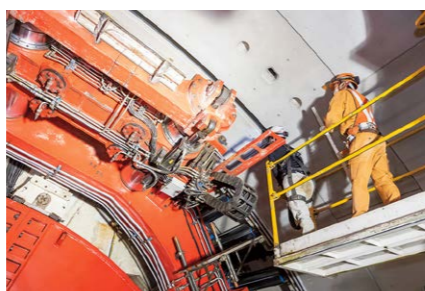
シールド工法なら切羽は基本的に密閉状態で地下水を抜かず掘るため、地盤沈下のリスクを回避できるのです。それが、シールド工法が採用された理由でした。



△トンネル坑内の様子



△セグメントを10ピース組み立て一つのリングにつなげることでトンネルになっていく

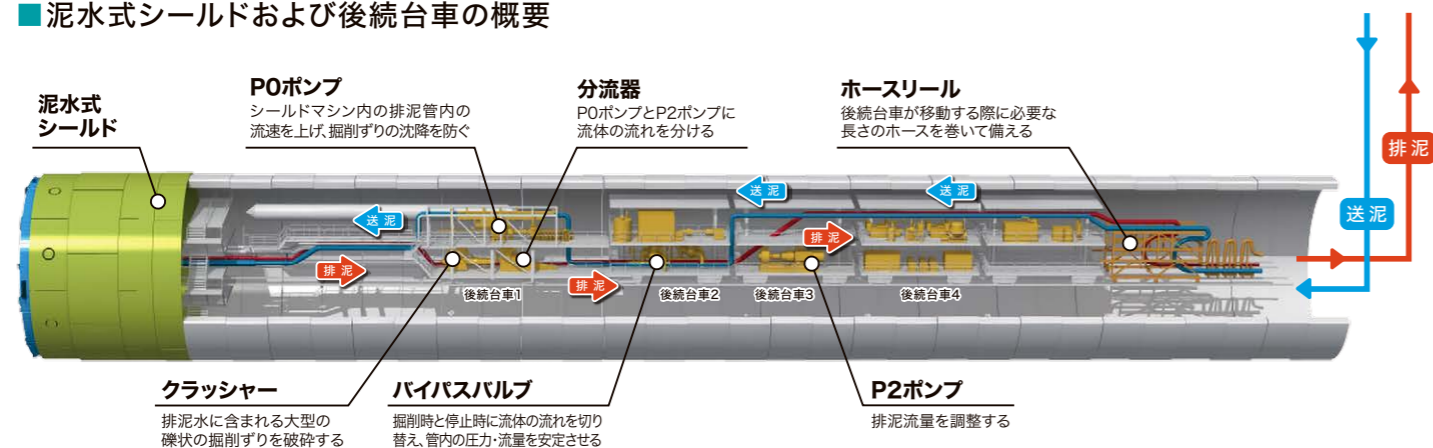


△エレクターという装置でパネルを1ピースずつ組み立てます



△掘削土砂は土砂ピットに排出。土砂は他の工事で活用されます

■ 泥水式シールドおよび後続台車の概要



定点写真で見る工場の移り変わり



現場ステーションで情報を公開・発信

掘削のスタート地点は二葉の里地区です。ここもマンション、ホテル、商業施設などがあり、神社が点在することから歴史の散歩道も整備されている“人が暮らし、憩うエリア”です。そのためマシンの組立段階から防音対策をしっかりと行い、夜間作業でも音がしないよう最大限の配慮を払ってきました。

「今も騒音、振動、地表面変位の3つの計測管理は徹底しています。地表面変位は0.1ミリ単位で管理しており、施工管理としては高い基準だと思います。計測コンサルタント会社とともに、日々厳格に管理を行っています」(中村所長)



△地域活動にも積極的に参加。コミュニケーションを大切にしています



△独自の仕様で作業効率の向上を図っているセグメントの継手。現場ステーションでは実物を展示しています

工事のことをもっと知ろう!

多くの人に関心を寄せる「現場見学会」

高速5号線シールドトンネル工事では、毎年秋に「現場見学会」を実施しています。広島駅北側の大きなイベントに合わせて行うため、過去には1日1000人近い人になぎわっていました。それだけ多くの方が関心を持っている証拠でしょう。

しかし2020年は密を避け、定員枠を設けて開催。それでもたくさんの応募があり、抽選で129名の方が参加しました。

アンケートでは「規模の大きさに圧倒された」「現場がきれいだった」などさまざまな感想に加え、「頑張ってください」といった励ましの言葉も寄せられ、仕事に対する私たちのモチベーションもアップしました。私は当日受付を担当したのですが、笑顔で帰る子どもたちを見てうれしくなりました。

このほか現場では、発注者を通じて親子見学会や学校見学の受入なども行っています。



二葉の里、牛田の両地区には、誰でも気軽に訪れることができる「現場ステーション」を設置しました。そこでは工事情報を公開しているだけでなく、地区住民代表の方たちと連絡を取り合い、しばしば協議会や説明会を行っています。工事では、地元の皆さんに安心感を持っていただくための取り組みも欠かせないのです。



△工事の資料や日々計測している騒音などのデータを展示しています



スムーズな工事のために
工務として奔走

私はこの現場に2020年1月に配属されました。現在の仕事は、計画業務、発注者との協議や施工管理委員会のための資料作成など、工務が中心です。

「工務の仕事は、現場をスムーズに進める上でなくてはならないものです」と山元寛哲副所長は話します。「現場業務は多岐にわたるため、働き方改革の中で当現場では『工事班』と『工務班』で業務分担をしています。工務はこれから先の計画、対外的な説明資料の作成などを主に行いますが、例えば週替わりで現場の安全当番も担当するなど、現場の職人さんたちとも接しながら工事をマネジメントする立場です」

このようにいろいろな人と接する仕事なので、私は「誰に話すのか」「何を伝えたいのか」をいつも考えて行動するようにしています。一つひとつできることが増え、やりがいも実感しています。



△工務班として活動する二郎丸さん。「かわら版」の制作も手がけています

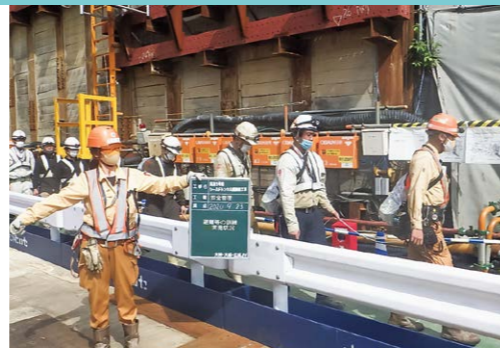


△常に現場の動きを把握できるよう情報を共有しています

整理整頓と指さし確認で
意識を高める

安全管理に関しては、法令に定められた避難訓練・消火訓練などを実施する以外にも、現場では重点管理項目を8つほど設けて守ることを徹底しています。とりわけ所長が大事にしているのは、「整理整頓」と「指さし確認」です。現場をきれいにしよう、そして声に出して確認することで意識を高めよう、という所長の考えは現場にかなり浸透していると思います。

また当現場では、所長クラスだけでなく若手職員も職人さんに対してハキハキと発言ができるように、と職員教育に力が入られています。経験豊富な職人さんにも、ダメなことはダメとはっきり言える、安全に関しては絶対に妥協しない強い姿勢を求められています。これらを実践するためには普段から職人さんと何でも言える良好な関係性を築いておくことが大事です。会話のキャッチボールによってしっかりコミュニケーションを図るよう、現場では心がけています。



△定期的避難訓練、消火訓練を実施しています

SNSも活用、
進む現場のICT化

シールドマシンは前面の地盤を掘りながら進みます。その後部ではセグメントと呼ばれるトンネル内の壁が組み立てられます。また、掘削した土砂は地上のプラントに送られ、土砂と泥水に分離されて、泥水は再び掘削面へと送られます。

こうした土木工事の現場においても、近年はICT化が進んでいます。マシンのすぐ後ろにある台車ではオペレーターがタッチパネルでマシンを操作。別の場所にある中央制御室では、流体輸送のシステムを管理しています。

現場内の整理整頓、コミュニケーションが大切

資材の置き場所が明確になることで、作業効率の向上にもつながります。



△水平・直角にきっちりと置かれた資材



△小さい物は個別に管理



△危険な箇所を見える化



△作業打合せによる職種間のコミュニケーション



壁を乗り越えながら、
いよいよ大きな山場へ

また、現場にはウェブカメラが何台も設置されたり、今リアルタイムで何が起きているかをデジタル表示したりと、さまざまな工夫が見られます。

「昔はトンネル内での連絡通信は一苦労でしたが、現在ではトン

ネル内にWi-Fi環境を整備して、SNSを活用するなどしてスマートフォンで皆が情報共有することもできます。そうすれば自分がどう行動をとればいいのかすぐに分かり、効率的というわけです」(山元副所長)

広島のみちづくりに
貢献できるという誇り

掘削はこれから牛田地区に入っていきます。それだけにさらなる緊張感をもって臨まなければならない、と私自身気持ちを引き締めると同時に、これまで多くの先輩たちが携わってきた工事の完成をしっかり見届けたい、という思いも抱いています。その感動はきっとすごく大きいはずですよ。

自分のかかわった仕事が広島の皆さんに喜ばれ、そしてこのまちの発展の一翼を担えると思うと、誇りも感じます。皆さんもぜひその日を心待ちにしてください。



△泥水処理設備について解説する二郎丸さん



△坑内でも工事の進捗がわかるようにしています



△シールドマシン運転席



△掘削土砂を含んだ泥水の流体輸送管理、泥水処理プラントの運転管理を行う中央制御室





工事現場で活躍 **けんせつ小町**

女性技術者が現場を変える！

造っている過程に 携われることが醍醐味

日特建設株式会社 広島支店
工事部 工事課

蔵増 華帆さん
くらし かほ

山口県生まれ。岡山理科大学理学部動物学科卒。
2019年日特建設株式会社入社。
6つ目の現場として「国道432号(大庭バイパス)
防災安全交付金(改築)工事その20」を担当。

※撮影のためにマスクを外している場合があります。

専門的な領域で 存在感を発揮

編集部 現在どんな現場を担当していますか。

蔵増 鳥根県松江市で斜面对策工事に携わっています。バイパスを造るために山を削ったら地すべりの恐れが出てきたため、それを防ぐために「抑止杭工」と呼ばれる工事が必要になりました。斜面に杭を打つことで地すべりを防止する工事ですね。当社がそれを請け負っていて、施工管理を担当しています。

編集部 建設現場の中でも専門的な領域で活躍しているんですね。

蔵増 はい。地盤改良技術や法面技術などで「小さな現場をこなす」のが当社の強みです。私もこれまで広島に軸足を置きながら、地盤改良、法面防災、ダム補強など、中国地方でいくつもの工事に携わってきました。

編集部 どんなときやりがいを感じますか。

蔵増 私たちは普段完成したものしか見ることができませんよね。でもこの仕事ではそのプロ

セスに触れることができます。ものづくりは過程にこそ醍醐味があり、そこに携われることは喜びだと思います。

ゼロからのスタートで 新しいことに挑戦

編集部 大学では建設とは異なる分野を学んだのですね。

蔵増 はい。建設には興味があったのですが物理が苦手だったので、大学では動物に関する分野を学ぶことにしました。でも就職活動で日特建設と出会い、もともとの夢が再燃したんです。植物の力で法面の強度を保つ「ジオファイバー工法」のような、当社独自の技術にもひかれました。植物の環境を整えることは動物の生態系にもかかわってきます。これは大学での学びにもつながると考えました。

編集部 まったくゼロからのスタートに不安はありませんでしたか。

蔵増 新しいことをするのは苦じゃないんです。それに当社には多様性を大事にする社風が

あり、同期にも他分野出身者が何人かいたので、みんなで情報交換しながら頑張りました。上司も「この仕事は経験工学、スタート地点は一緒だよ」と言ってくれます。



▲先輩はいつも丁寧に指導してくれる

編集部 成長を感じるのはどんなときですか。

蔵増 日々感じています。入社1年目などは数字的なこともあまり頭に入っていないくて、職人さんに聞かれてもすぐには答えられないことが多かったんです。だから今は管理項目を頭に入れてから現場に入るよう心がけています。職人さんに「すごいね」と感心してもらえると、素直にうれしいです。

現場情報

- 工事名称：国道432号(大庭バイパス1) 防災安全交付金(改築)工事その20
- 工事場所：松江市大庭町～古志原
- 発注者：鳥根県 松根県土整備事務所
- 施工者：松江土建株式会社

- 工期：2020年3月12日～2021年3月19日
- 工事概要：当工事は、大庭バイパス建設に伴い、法面工、地下水排除工、抑止杭工を建設するものである。



△近隣に民家があるため防音シートを巡らせて防音対策を徹底

◁間違いがないよう元請の所長さんと入念に打ち合わせ



◁工事が正しく進んでいるか、鋼管杭を入れる穴を確認

▽ドリルの先はこんな形状。この辺りの地質は玄武岩



△穴を掘って杭を入れるボーリングマシンの前で職人さんと

編集部 先輩のアドバイスで心に残っているものはありますか。

蔵増 「分からないことはそのままにしないように」ということですね。自主的に調べる姿勢も大切ですが、職人さんたちとしっかりコミュニケーションを取ることで吸収できることもたくさんあります。

編集部 女性社員は同期や先輩にもいますか。

蔵増 同期のうち5人が女性で、現在それぞれ全国で活躍中です。中国地方では女性は私1人なので、他エリアの人に「夏の日焼け対策はどうしている?」なんて相談したりしています。関東には女性の先輩もいますよ。

やる気さえあれば 必ず成長できる

編集部 仕事で心がけていることは何ですか。

蔵増 「笑顔」でしょうか。笑顔でいることで自分自身も下を向かず前向きになることができるし、周りの人々を自然と明るい気持ちにさせられると思います。

編集部 今の現場では蔵増さんが紅一点のようですね。

蔵増 そうなんです。だから女性ならではの細かい気づかいということは意識しています。工事の流れを把握して職人さんが必要な道具を運んだり、忙しいときは疎かになりがちな整理整頓を率先してやったり、できるだけ気をつけるようにしています。



▲工事の流れを把握して職人さんに道具を運ぶ

編集部 今後の目標について教えてください。

蔵増 いろんな工種を体験しながら成長し、覚えたことはしっかり自分のスキルにしていきたいです。ゆくゆくは1級土木施工管理技士の資格取得も目指しています。



▲妹と大分へ旅行に行ってきました

編集部 オフはどのように過ごしていますか。

蔵増 社会人になってクロスバイクを買ったので、松江市では宍道湖の周りなどを自転車ですべて走っています。週末は広島市内の寮に戻って過ごすこともありますよ。

編集部 最後に、建設業界を目指す人たちにメッセージをお願いします。

蔵増 仕事は一生ものです。それなら好きな道を選びましょう。私は運よく今の会社と巡り会い、建設業界に飛び込みました。違う分野を学んだとしても、やる気さえあればきっといくらでも成長できます!



工事現場で活躍 **けんせつ小町**

女性技術者が現場を変える！

「自分の仕事に責任を持つ」 そのモットーを常に忘れず

清水建設株式会社 広島支店

山田 かりんさん
やま だ

大阪府生まれ。
広島大学大学院工学研究科修了。
2016年清水建設株式会社入社。
現在大手鉄鋼メーカーの土木工事作業所に配属。

※撮影のためにマスクを外している場合があります。

最初から大きな現場、 特殊な現場を経験

編集部 これまでにどんな現場を
経験してきましたか。

山田 最初は東京外環自動車道大和田工事に2年間ほど携わりました。次が成田国際空港滑走路での内設関係の工事に8カ月、その後学生時代を過ごした広島県に戻って大手鉄鋼メーカーの発電施設の躯体工事に1年半、施設の改修工事に1カ月携わり、現在は岡山県倉敷市で同企業の敷地内の基礎工事を担当しています。今は着工に向けて準備を進めているところです(2020年10月末現在)。

編集部 最初から大きな現場だったのですか。

山田 はい。外環の工事はピーク時で100人を超える人たちがかわる大きな現場でした。そこで現場の調整や発注者の検査対応などに奔走したことは、とても得がたい経験だったと思います。2年間が目まぐるしく、あっという間でした。

編集部 次の空港も特殊な現場だったのでは。

山田 そうですね。広大な敷地だったため、まずは車の運転練習から始めたことを思い出します。工事は地中に電気ケーブルの防護管を埋める作業だったのですが、夜勤が中心であること、滑走路上での作業など、かなり特殊な状況下でした。夜の現場は私1人だったのでプレッシャーもありましたが、でもその分自由度も高かったと思います。

編集部 仕事で心がけていることは何ですか。

山田 自分の仕事を、責任を持ってやることです。まだまだ先輩たちに教わりながら、成長を続けています。



▲現場にて上職者と打合せ

慣れ親しんだ中国地方で活躍

編集部 大学は広島だったのですか。

山田 はい。広島大学で学びました。私の在籍した学部では1年次で土木と建築の両方を学び、2年次で専門を選択することができました。土木を選んだのは、道路、橋などさまざまな種類のものが造れること、それらが長く残ることにやりがいを見出したからです。

編集部 3つ目の現場からは
中国地方に帰ってきた感じですね。

山田 3つ目と4つ目が福山市で、現在の5つ目は倉敷市です。いずれも大手鉄鋼メーカーの敷地内での工事です。ここではそれまでの公共施設とは異なり、企業のルールに則って作業を行わなければならない。そこが難しさでもありますが、逆に言えば線引きが明確なのでやりやすさでもあります。

編集部 どんな仕事が記憶に残っていますか。

山田 コンクリートの躯体工事のとき、仮設関係の工事を任されたんです。足場の組み方な



△作業所内のデスクではPCを使って図面作成などを行う

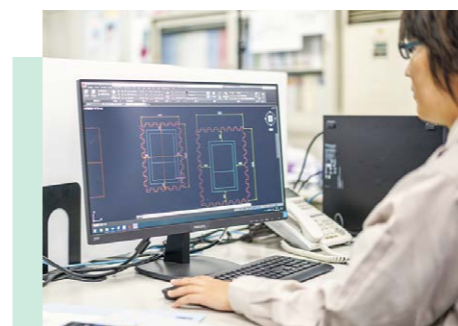


△進捗状況などを確認するミーティング風景。いつも大事にしているのは「報・連・相」



◁土木基礎工事の施工管理を担当。1人で現場を動かせるようになることが目標

▷ヘルメット・安全帯を
着け、敷地内の現場に向かう



▲自らがけた仮設の図面をチェック

どを工夫して計画し、数字を拾い、図面を描きました。もちろん周りの意見を参考にしながらですが、かなり自由にやらせてもらえたのでやりがいを実感することができました。仮設はあくまで本設のためのものですが、無事に撤去されたときはホッとしました。

編集部 まだまだ男性社会のイメージがある
建設業界に飛び込むことに、
不安はありませんでしたか。

山田 それは特になかったですね。もちろん新人ゆえの不安はありましたが、自分で判断できな

いことは何事も相談するに限ります。私も入社1年目は困ったらすぐに上司に相談していました。また、この仕事はタフでなければできません。しょっちゅうへこんでいたら、もたないですよ。

編集部 女性目線で何か改善したいことは
ありますか。

山田 これは女性目線ではないかもしれませんが、事務所内は常にきれいな方が絶対いいです(笑)。自ら整理整頓を実践しています。

資格取得も視野に 自分の付加価値を高めたい

編集部 今後挑戦したいことは何ですか。

山田 自分の付加価値を上げるために「技術士」の資格取得をめざしたいです。また、いろいろな仕事、幅広い案件もさらに経験したいと思っています。

編集部 キャリアパスとして思い描いている
将来的なビジョンはありますか。

山田 現場だけでなく、設計など内勤も何年か経験してみたいと考えています。いずれにして

も長くこの業界で活躍したいです。

編集部 休日はどのように過ごしていますか。

山田 買い物や家の用事をしていたら、あっという間に1日が終わってしまう感じですが、今はせっかく倉敷に来たのだから美観地区などいろいろな遊びに行きたいと思っています。

編集部 最後に、未来のけんせつ小町たちに
エールをお願いします。

山田 「頑張ってください!」の一語に尽きるでしょうか。応援しています!



▲会社主催のソフトボール大会



小さなころから憧れた 胸踊るものづくりの世界へ

前田建設工業株式会社 中国支店
広島TBM作業所

西村 佳菜子さん
にしむら かなこ

兵庫県生まれ。
山口大学工学部社会建設工学科卒。
2019年前田建設工業株式会社入社。
2020年2月から広島TBM作業所(広島県海田町)に配属。

※撮影のためにマスクを外している場合があります。

本配属は珍しい工法の トンネル工事現場

編集部 小さなころから建設業界に
興味があったのですか。

西村 はい。私は兵庫の出身ですが、明石海峡大橋のような大きな建造物を見るとワクワクしていました。それが土木という分野とは知らずに心ひかれていました。

編集部 今はどんな現場を担当していますか。

西村 TBM(トンネル・ボーリング・マシン)という珍しい工法を使って、送水トンネルを造る工事に携わっています。私が担当しているのは主に



▲カメラ付きのドローンで測量(撮影画像)

「明かり工事」と呼ばれる坑外の部分です。この工事では削ったズリ(土)を公園造りの盛土として活用しているのですが、それを正確に行うための測量や丁張りという作業を行っています。また坑内では、坑壁にファイバーモルタルを吹き付けるかどうかを判断する「切羽観察」も担当しています。

編集部 仕事の面白さ、やりがい
どんなところに感じますか。

西村 日々トンネル工事の距離が延び、公園の盛土が出来上がっていく様子を目のあたりにできるのは、大きなものづくりに携わっている感動があります。

編集部 現場を経験することで
気づいたことはありますか。

西村 前準備、打ち合わせなどを徹底して行うこと、それに伴う書類作成業務やPC作業が思いのほかたくさんあることです。こういうことは学生のころはあまり想像していませんでした。しかしそれらを効率よくやり、各方面としっかり連携を図ることが、スムーズで安全な工事を行う上では欠かせないことを知りました。

人に説明できるだけの 深い理解を身につけたい

編集部 仕事で心がけていることは何ですか。

西村 教えてもらったことはしっかり理解するよう努めています。知識が自分のものにならないと、研修で来ている後輩たちに質問されても答えられません。きちんと人に説明できるだけの理解はしておきたいです。

編集部 どんなときに成長を感じますか。

西村 例えば研修中のことですが、新幹線の高架橋工事に携わったとき生コン打設を経験したんです。最初は右往左往するばかりでしたが、写真や時間の管理などできることがだんだん増えていって、入社時には分からなかった先輩方の苦労も見えるようになりました。

編集部 先輩のアドバイスで
心に残っているものはありますか。

西村 その高架橋の現場で一緒だった女性先輩から、「何事もミリ単位で確認することが大切だよ」と指導してくださったことを今でもよく

現場情報

■**工事名称**：広島水道用水供給事業二期
トンネル整備工事(海田～矢野工区)
■**工事場所**：安芸郡海田町東海田(海田総合公園内)
～広島市安芸区矢野町
■**発注者**：広島県 広島水道事務所
■**施工者**：前田・国土・河井広島水道用水供給事業
二期トンネル整備工事(海田～矢野工区)
共同企業体

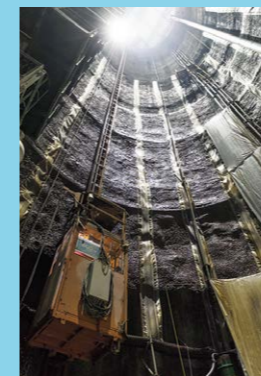
■**工期**：2016年12月1日～2023年3月15日
■**工事概要**：工事延長 L=4,492m
TBM掘削工(内径Φ2.6m) L=4,450m
先進掘削坑 L=15m
接続トンネル工 L=13.5m
立坑(内径Φ11m) 1基、H=63.2m
附帯工 一式



◁ロックシュミット
ハンマーで壁面の
強度を図る



△作業所内のウェブカメラで現場の様子をチェック



▷距離ごとに
出たズリをトレイに
並べて整理



◁エレベーターで
地下60mへと降
りていきます

▷職人さんと打ち
合わせ。みんな優しい人
ばかり



覚えていて。私には大雑把なところがあるので、きちんと言ってもらえるのがありがたいです。その人のことを考えて指摘すべきところは指摘する、そんな指導の仕方が本当の良さだと思います。



▲後輩に指導することで自分も学ぶことが多い

編集部 女性ならではの視点が
役立っていることはありますか。

西村 特に意識はしていませんが…そうそう、工事で出たズリが作業所内に無造作に置かれていたので、これを距離ごとに分けてトレイに並べてみました。そうしたら「美術館みたい」となかなか評判でした(笑)。

大好きな現場で これからもずっと活躍を

編集部 これからの目標を教えてください。

西村 現場ごとにやるのが違いますから、今とはかくいろんな工種を経験したいです。多くの先輩社員や職人さんたちとコミュニケーションを取ることで自分の知識、選択肢、幅が広がるので、まずは話を聞くことを大切にしたいと思っています。

編集部 ずっと施工管理の仕事に
携わっていきたいですか。

西村 はい。もし結婚・出産などを経ても、現場に復帰して活躍するのが希望です。実際にそういう先輩もおられるので心強いです。

編集部 プライベートも充実していますか。

西村 もともと旅行やドライブが好きなので、赴任した土地のきれいな景色を見たり、おいしいものを食べたりすることは楽しいです。学生時代の友人もいろんな地方にいたので、ときどき会って情報交換しています。



▲休日、友人と花畑を見に世羅町へドライブ

編集部 建設業界を目指す学生に
メッセージをお願いします。

西村 私の学んだ学科では女子学生の3分の1がゼネコンに就職しました。当社にも毎年多くの女性が施工管理として入社しており、タテのつながりの中で相談しやすい環境も整っています。この仕事は自分のやっていることが目に見えて形になるため、「未来社会に貢献している」という確かな手応えを感じることができそうです。



工事現場で活躍 **けんせつ小町**

女性技術者が現場を変える！

憧れの先輩の背中を 追いかけてながら成長中

五洋建設株式会社 中国支店
広島市中区富士見町PRJ

尾前 なつめさん
おまえ

宮崎県生まれ。

都城工業高等専門学校建築学科卒。

2018年五洋建設株式会社入社。2020年5月から広島市中区富士見町PRJ
(広島市中区富士見町地区フルサービスホテル建設工事)に配属。

※撮影のためにマスクを外している場合があります。

多くの人がかかわる ホテル建設の現場で

編集部 この業界に興味を持ったきっかけは。

尾前 父が設計事務所をやっていて、子どものころから定規を持って遊んだり、土日に現場について行ったりしていました。姉も建築の道に進んだのですが、私も自然と同じ分野を選んでいました。

編集部 これまでにどんな現場を経験してきましたか。

尾前 まず事務所の新築工事に半年間、次に物流センターの新築工事に1年半、そして2020年5月から現在のホテル建設、いずれも広島市内です。2つ目の現場ではCADソフトを使って週間工程も書かせてもらうなど、とても勉強になりました。

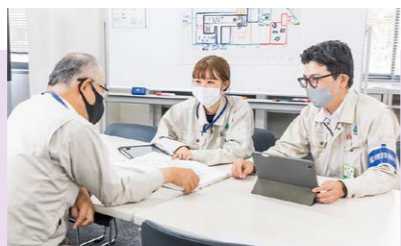
編集部 今のホテル建設はどんな現場ですか。

尾前 特定JV(共同企業体)による大規模現場で、工種も多いのが特徴です。私の担当はコンクリート工事および左官工事の施工管理、つまり打設前のレベル確認や人員調整といった

ことですね。

編集部 大きな現場ならではの留意点がありますか。

尾前 多くの人がかかわる現場では「聞いてないよ」というようなことも起こりがちです。そういうことがないようにコミュニケーションをしっかりとることが欠かせません。私は何事も一人で抱えず周囲に必ず言う、情報共有することを心がけています。



▲工種が多いのでコミュニケーションが欠かせない

「きょう女子会しない？」 気にかけてくれる先輩に感謝

編集部 女性も多い現場のようですね。

尾前 はい、工事・工務ともに多くの女性が

活躍しています。今、私は頼れる女性の先輩と一緒に働いています。入社前に当社のホームページに載っているのを見て「素敵だな」と憧れていた方で、偶然にも2つ目の現場で一緒になりました。今の現場にもその先輩が配属されていて、私と一緒にまた仕事ができるのが喜んでいただいています。

編集部 信頼関係があるんですね。

尾前 はい。先輩は私にとって心のよりどころです。女性が増えてきたとはいえ、数でいえば男性の方が圧倒的に多い世界ですから、その中でストレスを感じることも正直あります。先輩は言うべきことはビシッと申し、一緒にいて安心感があります。私も最近は男性の職人さんに対して言い返せるようになってきましたけど(笑)。

編集部 先輩も施工管理なのですか。

尾前 今は工務のリーダー的ポジションです。私は工事担当なので業務内容は違うのですが、仕事で疲れているようなときに「きょう女子会しない？」と誘ってもらったり、本当に助けられています。

現場情報

■工事名称：(仮称)広島市中区富士見町地区フルサービスホテル建設工事
■工事場所：広島市中区富士見町11-5

■発注者：富士見町開発合同会社
■施工者：五洋建設・増岡組特定共同企業体
■工期：2020年2月1日～2022年4月30日



△トランシットでコンクリート打設前のレベルをチェック。日々の細かな確認をすることで、工程が正しく進んでいるかを把握



△現場をまわりながら、作業の進み具合をはじめ、危険な箇所がないかチェック



△大規模なホテル建設の現場では、かかわる人が多く、情報を常に共有することが大切

▷信頼している先輩と。「尾前さんもだんだんたくましくなってきたよ」とうれしい言葉



編集部 後輩にも女性社員はいますか。

尾前 はい、中国地方にもいますよ。後輩ともコロナ前まではよく飲みに行くなどして仲良くしています。ときには年齢の近い男性社員たちも一緒にバーベキューをするなど、和気あいあいと楽しんでいました。

全体のことを把握して 工程が書けるようになりたい

編集部 現場で特に気をつけていることはありますか。

尾前 夏は熱中症にならないように、体調や



▲現場が好き。職人さんとの関係もバッチリ

顔色が悪そうな人には声をかけるようにしています。スポーツドリンクを配るなどして、休憩をとりながら作業をしてもらうようにしています。ただし職人さんに対して上から目線の話し方にならないよう、気をつけています。

編集部 今後の目標を教えてください。

尾前 まずは工程が書けるようになりたいです。例えば工事の遅れを取り戻すようなとき、いろんな工程の流れを理解した上でどこをどうすれば早くできるかを考え、工程を書かなければなりません。それができるよう力を身につけていきたいです。また、見積などもいつか経験してみたいですね。

編集部 女性目線で改善したいことはありますか。

尾前 改善はかなりされていると思います。会社が現場を含めた全社員を対象にセクハラやパワハラに関する研修を実施していて、私も受けたのですが、「こんなこともセクハラになるんだ」と逆に学ぶことが多かったです。

編集部 休日はどのように過ごしていますか。

尾前 冬はスノーボードにハマって毎週末

行っていました。あとは静岡にいる姉や神奈川にいる従姉を訪ねたり、友人と博多に遊びに行ったり、けっこう県外に出かけています。

編集部 建設業界を目指す女性に一言。

尾前 男性社会に不安を感じる人もいるかもしれませんが、今の建設現場は女性がとても働きやすい環境なので安心して下さい!



▲スノーボードに行ったときの楽しいオフショット

あくなきチャレンジ精神で これからも前進を

岩田地崎建設株式会社 大阪支店
土木部

蝶子 恵美さん
ちょうこめぐみ

徳島県生まれ。

阿南工業高等専門学校創造技術工学科卒。

2020年岩田地崎建設株式会社入社。

同年5月から沼田調整池増設工事(広島市安佐南区)に配属。

※撮影のためにマスクを外している場合があります。

学生時代に本で 建設業の女性を見て興味

編集部 建設業界に興味を持ったきっかけは。

蝶子 何か専門的なことがやりたくて高専に進み、そこで女性の先生に建設現場で働いている女性が載った本を紹介してもらったんです。その姿が格好よくて、「私も挑戦したい」と2年次から建設コースを選びました。

編集部 今の現場は初めての配属ですね。

蝶子 はい。災害対策の一環として調整池の容量を増強するため、新しい調整池を増設する工事です。偶然にもここは学生時代にインターンシップで来た場所でした。

編集部 どんな仕事をしているのですか。

蝶子 敷設してある水道管が図面と一致しているかどうかの確認、職人さんと打ち合わせをしながらの週間工程の作成、安全教育で使うための安全書類の作成などですね。朝礼や昼礼の司会も担当しています。

編集部 1日目から忙しいですね。

蝶子 何をやっても初めての経験なので、とても楽しいですよ。私はやらせてもらえることなら何でも挑戦したいと思っています。うまくいかないこともあるかもしれないけど、できることもたくさんあるはず。チャレンジ精神を常に持ち続けたいです。

素直に聞く耳をもち 周りと信頼関係を築いて

編集部 自分の長所はどこだと思いますか。

蝶子 幅広い年代の人と垣根なく話せることでしょうか。施工管理の仕事は、自分より年上の方にも指示を出さなければなりません。当社の採用面接時にもそれを言われましたが、私はいろんな年齢層の方と円滑に接することには自信がありました。

編集部 仕事で心がけていることは何ですか。

蝶子 知ったかぶりをせず、分からないことは分からないと言うようにしています。まだ新人なので、正直まったく知らない専門用語に出会うときもあります。例えば「可とう継手」と言われても、柔

構造をもつ接合部のことだとすぐに理解できません。そんなときは「何ですかそれ?」と素直に聞きます。



▲いろいろな年代の人との交流に自信あり

編集部 周りに支えられているんですね。

蝶子 はい、所長も職人さんも優しいですよ。所長には初めての一人暮らしの不安など私生活のことも話しますし、職人さんとは楽しく世間話もしています。とても良好な関係が築けていると思います。

編集部 日々成長しているんですね。

蝶子 だと思います。最近は測量機械の据付も目に見えて早くできるようになってきました。

現場情報

■工事名称：沼田調整池増設工事

■工事場所：広島県広島市安佐南区
伴東3丁目15-63

■発注者：広島市水道局

■施工者：岩田地崎・栗本建設工事共同企業体

■工期：2018年2月16日～2021年3月31日

■工事概要：災害対策の一環として沼田調整池の容量を増強するため、沼田調整池場内に新しい調整池を増設する工事を行います。



△朝礼や昼礼の司会も担当。極力下を向いてしゃべらないよう注意

▷沼田調整池場内に新しい調整池を増設する工事



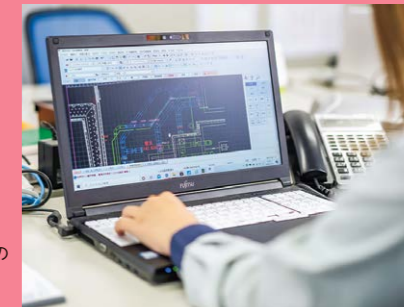
◁自分より年上の人にも指示を出すのが施工管理の仕事



△開口部から資材を降ろす時の安全を確認



▷調整池へ水道水を供給するための大口径水道管



▷PCで工程表や安全書類の作成を行うのも業務の一環

最初のころは据付に半日もかかり、「今日中に終わりません。測るどころじゃないです」と所長に訴えていたほどです(笑)。また、朝礼では下を向いて紙を見ながらしゃべるのではなく、前を向いて職人さんの顔を見ながら話せるようになりました。

日々何かが達成できていると 実感しながら

編集部 男性が多い職場への不安はありませんでしたか。

蝶子 今の現場では女性は私1人ですが、そういう環境はある程度覚悟して入社しました。個人的には地元のお祭りで和太鼓を叩いていた



▲「私は私のペースで成長していきたい」と笑顔

ので、男性に交じって活動することには慣れていきます。もちろん近年は女性の施工管理も増えてきて、当社でも本社などで活躍しています。女性が身近にいると心強いことは確かです。

編集部 現場で困ることはありませんか。

蝶子 最初、更衣室がなくて空いた部屋を使っていたのですが、「あった方がいいです」とお願いしたらすぐに用意してもらえました。

編集部 女性ならではの目線が役立つことは。

蝶子 整理整頓には気を配っています。安全管理面からも現場はきれいにしておく方がいいですからね。

編集部 今後の目標を教えてください。

蝶子 選り好みせず、何でも挑戦したいです。トンネル工事も経験したいし、新規の工事に最初から最後まで携わりたいという希望もあります。チャンスがあれば日本国中どこへでも行ってみたいです。とはいえあせらず、人と比べることなく、あくまで自分のペースで成長できればと思っています。

編集部 休日はどのように過ごしていますか。



▲休みの日には実家の庭で家族とよくBBQをしています

蝶子 休みの間に平日のご飯を作り置きしたり、友人とのんびり過ごしたりしています。徳島から親もよく来てくれるので、一緒に宮島に行くなど広島を満喫しています。

編集部 最後に、建設業界を目指す女性に一言お願いします。

蝶子 難しいこと、悩むこともいろいろあるかもしれませんが、達成感の大きな仕事があると思いますよ。私も日々何かが達成できていると感じながら働いています。

「いつか所長に」— 大きな夢に向かって

株式会社鴻池組 広島支店
プレディア西古松ガーデンコート新築工事
矢野 冴香さん
やの さえか

愛媛県生まれ。
近畿大学工学部建築学科卒。
2020年株式会社鴻池組入社。
同年5月からプレディア西古松ガーデンコート新築工事(岡山市北区)に配属。

※撮影のためにマスクを外している場合があります。

直接ものづくりに携われる 施工管理に興味

編集部 小さなころから建築が好きでしたか。
矢野 家のペンキ塗りなどDIYが好きなお子でもでした。実家は愛媛なのですが、農家をしていた祖父が自分でミカン倉庫を建てるのを面白いなど思っていました。

編集部 それで施工管理に興味を？
矢野 人の役に立ちたかったので、ものづくりに直接携われる施工管理はやりがい大きいと考えたんです。大学では最初、意匠について学びましたが、やはり現場がいいなと。

編集部 鴻池組を選んだ理由は。
矢野 大学のときインターンシップに参加して、呉市の造船部品を造る工場の新築を見学したんです。その現場に感動したことが大きかったですね。

編集部 そして入社後初の配属が今の現場？
矢野 はい、2020年4月に始まったマンションの新築です。先に出来たモデルルームの施主

検査にも携わりましたが、今は現場で朝礼の司会やコンクリート打設の計画を立てたり、出面集計(人員管理)をしたりしています。徐々に工程が進んでいくのを目のあたりにしていると、将来完成した姿を想像してワクワクします。また、自分の指示で職人さんが動くので、責任の大きさも実感しています。



▲現場各所に貼る注意書きをPCで作成

人間的な成長に願いを込めた 所長との交換日記

編集部 女性の施工管理は多いのですか。
矢野 この現場では私1人ですが、会社全体

ではたくさんいます。同期でも10人ほどがそれぞれの現場で活躍しています。

編集部 何かと相談しやすい環境ですか。
矢野 はい。入社後には神戸で女子研修もあり、みんなで仕事の悩みについて話し合ったり、ホテル建設の現場を見学したりしました。私は何も困っていることはなくて、特に相談することはなかったのですが…。

編集部 周りの人に支えられているのですね。
矢野 本当にそう思います。所長とは“交換日記”もしているんですよ。『西古松日記』というタイトルでもう3冊目なのですが、そこでは仕事のことでなくプライベートなことも書いています。所長は「技術や知識は後から付いてくる、それよりも人間的に成長してほしい」と言ってくださいます。

編集部 コミュニケーションを大事にしている現場なのですね。
矢野 はい。それは職人さんに対しても同じで、私は皆さんと仲良くなるためにまずは自己紹介から始めています。その上で「岡山に住むのは初めてなんですけど、どこかいいところありますか？」

現場情報

- 工事名称：プレディア西古松ガーデンコート新築工事
- 工事場所：岡山県岡山市北区西古松2丁目8-4
- 発注者：JR西日本プロパティーズ株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
- 工期：2020年4月1日～2022年2月17日
- 工事概要：建築面積/703.55㎡ 構造/RC造
延べ面積/6352.63㎡ 階数/地下0階+地上12階+塔屋0階
階高/3.37、2.92m 最高部高/36.35m 戸数/66戸



△>経験も知識も豊富な所長から交換日記や打ち合わせを通して多くを吸収



△現場には「女性が活躍する職場です」の文字が



△元気に朝礼の司会も担当



△鉄筋材の仮置き場にて



<休憩所に自ら作った注意書きを貼る

>職人さんと仲良くなるにはまず自分を知ってもらうことが大事



なんて話もすると、おいしいお店の情報も教えてもらえます。それで実際に買いに行くと「この前のスイーツ食べましたよ」という話で盛り上がり、さらに関係が深まりますからね。

スピード感をもって 正確に仕事をしていきたい

編集部 現場で気をつけていることは？
矢野 整理整頓、これは安全面にもかかわってくることで職人さんに徹底をお願いしています。組んだ鉄筋が乱雑に置いてあると危ないし、女性の私が1人で動かすのは難しいですが、普段から良好な関係を築いておけば、何かを頼むときもスムーズです。



▲水平、垂直、直角、平行に整理整頓できているかな？

編集部 改善したいことはありませんか。
矢野 私自身の働き方としてはあります。「もっと効率的に動けるようになりたい」と思っています。実は計算間違いをして発注ミスをしてしまったことがあったんです。そのとき、スピード感をもって正確に仕事をする大切さをつくづく痛感しました。

編集部 今後の目標を教えてください。
矢野 「いつか所長に」と大きな夢を持って頑張っています。そのためにはまだまだいろんな経験を積んでいきたいです。マンションはもちろんですが、学校や公共施設など多様な現場にも携わりたいです。

編集部 岡山ライフも満喫していますか。
矢野 休日は友人と一緒にショッピングをしたり、バーベキューをしたり、楽しく過ごしています。もともと自然が大好きなので、海、滝、鍾乳洞などにも出かけています。

編集部 未来のけんせつ小町にメッセージを。
矢野 建設業は男性社会のイメージがあると思います。私も入社前にはもっと厳しい環境を想像

していましたが、でも全然違いました。トイレや更衣室のような設備面も快適だし、現場もきれいです。だから私は働きにくさを感じていません。女子研修の担当上司からその後も「困り事はない？」と連絡をもらうのですが、私は「とても楽しいです」と答えています。そうしたら「研修のときも同じこと言っていたね」と(笑)。それぐらい私は今楽しく働いています！



▲友人と井倉洞



工事現場で活躍 **けんせつ小町**

女性技術者が現場を変える！

パートナーシップを組んで よりよい仕事を



株式会社フジタ 広島支店
建築工事部 DPL広島観音作業所

渡辺 彩香さん(左)

わたなべ あやか

水野 華澄さん(右)

みずの かすみ

●渡辺 彩香さん

広島県生まれ。広島工業大学環境学部環境デザイン学科卒。
2015年株式会社フジタ入社。2020年11月から(仮称)DPL広島観音作業所(広島市西区)に配属。

●水野 華澄さん

岐阜県生まれ。東海大学工学部建築学科卒。
2020年株式会社フジタ入社。同年6月から(仮称)DPL広島観音作業所(広島市西区)に配属。

※撮影のためにマスクを外している場合があります。

先輩後輩のタッグを組み 内装工事を担当予定

編集部 **渡辺さんが5年ほど先輩ですね。**

渡辺 はい。でもこの作業所には私の方が後からの配属なんです。今は業務も別々で、私は作業所内でこれから始まる鉄骨建方の重機を検討したり、CADを使って図面を描いたりしています。

水野 私は鉄筋工事の先輩に付いて工事写真を撮ったり、ちゃんと配筋されているか確認したり、補佐的な仕事をしています。

渡辺 今後、内装工事が始まれば、おそらく私がメインで担当して、水野さんが付いてくれることになると思います。

編集部 **大きな物流施設の建設現場ですね。**

渡辺 そうです。私はこれまで大阪で物流倉庫、製薬工場などの建設に携わってきましたが、その中でも一番規模の大きな作業所です。

水野 作業所には150人から200人が出入りしています。事務所内だけで20人、うち施工管理は10人、その中で女性は私と渡辺さんの2人です。

編集部 **やはり女性の先輩がいると安心ですか。**

水野 はい。席も隣だし、何かと話しやすいです。



▲デスクが隣同士なので何かあればすぐに相談

何のためにやっているか、 考えて動くから面白い

編集部 **そもそもなぜ建設業に興味を？**

渡辺 地元の福山に大型商業施設ができて、それをフジタが手がけていたことが大きいですね。

水野 私はもともと計画や予定を立てることが好きなんです。建設業は計画したことが形になっていくことにひかれました。

編集部 **仕事で心がけていることは何ですか。**

渡辺 いろんな人に話しかけるようにしています。職人さんと仲良くなることは、仕事をスムーズに進める上で欠かせないことですから。

水野 私はわからないことは素直に聞くようにしています。困ったり悩んだりすると、すぐに顔に出てしまうタイプで、それは先輩や上司も感じていると思いますが…。

渡辺 伝わってきます(笑)。正直なんですね。

水野 あとは上司や先輩からいつも言われることでもありますが、何のためにやっているのか、考えて動くことも大切にしています。

渡辺 それはやりがいにもかかわってくるんですね。実は私は新入社員のころあまり考えずに仕事をしていました。でもそれだと仕事楽しくないんです。それが変わったのは、何かが完成して今までやってきたことが報われたという達成感を感じたときでした。この感動をまた味わいたい、それからは考えて動くようになりました。

水野 「これが出来上がるには、あの作業が必要だったんだ」と自分の中でつながっていくのが面白いですよね。

現場情報

■工事名称：(仮称)DPL広島観音新築工事

■工事場所：広島県広島市西区観音新町4丁目2874番165号の一部 他3筆

■発注者：広島観音特定目的会社

■工期：2020年6月15日～2021年10月31日

■工事概要：地上5階

FSRPC-B構法 一部鉄骨造
敷地面積/39,376.55㎡

延床面積/96,497.31㎡



△多くの社員が働く作業所内で所長とミーティング



△これから鉄骨建方がスタート



△完成すれば中四国最大級の物流施設になる予定



△ちゃんと配筋されているかチェック

▷職人さんとの良好な関係が仕事をスムーズにする

◁各所に貼る掲示物などをPCで作成



一度経験することで その仕事の重要性がわかる

編集部 **内装工事を控えて、**

先輩から後輩へアドバイスはありますか。

渡辺 ある作業所で夜遅くまで内装の墨出しをしたことがあるんですが、本来職人さんに任せればいいことを自分たちでやることで、ミリ単位の確認の大切さ、その作業の重要性がよくわかりました。指示を出す側の人間も、まずは自分で一回やってみるという経験が大事です。例えば鉄筋、コンクリートポンプのホースなどを自分で担いでみるとか。

編集部 **なるほど。水野さんはまだ**

入社1年目ですが、これからの抱負は？

水野 自分の担当工事に関して自信と責任をもって説明できるようになりたいです。そして作業所の改善や改革ができるような人材になりたいです。

渡辺 夢が大きい!

水野 まずは小さなことから(笑)。時間を短縮するにはどうすればいいかといったことから、少しずつそういうかわりを増やしていけたら…。

渡辺 水野さんは働き方にメリハリがあるので、そういうところは私も学ばなきゃと思います。

水野 そう言ってもらえると、うれしいです。

編集部 **現場で女性目線が**

役立っていることはありますか。

渡辺 以前、施工検査が終わってから、外壁の汚れや傷が気になって直してもらったことがありました。そういう細かいところに目がいくのは、女性目線というより性格なのかもしれませんが。

水野 私は休憩所の注意書き一つとっても温かみのあるものにするなど、みんなが気持ちよく働ける環境づくりをいつも意識しています。



▲イラストを使うなど見やすく工夫した掲示物



▲昨年夏に遊びにいった「おりづるタワー(広島)」にて(水野さん)

▲永観堂(京都)の紅葉ライトアップをバックに(渡辺さん)

編集部 **休日の過ごし方も教えてください。**

渡辺 もともと旅行や食べに行くことが好きで、大阪時代はよく京阪神に出かけていました。

水野 私は休日には時間をかけて料理を作っています。得意料理はハンバーグです。また広島に来て大型二輪免許も取ったので、いつかバイクを買ってツーリングにも行きたいです。

渡辺 実は私たち、寮でも隣同士なんです。これから教えられることはすべて教えていきますので、ぜひプライベートでも仲良くしましょう。

水野 よろしくお祈りします。先輩の一言一言に耳を傾けて頑張ります!



工事現場で活躍 **けんせつ小町**

女性技術者が現場を変える!

お城の復元に
人々の思いを託す



戸田建設株式会社 広島支店
史跡鳥取城跡中ノ御門表門等復元工事
築館 雪花さん
つきだて ゆきか

長野県生まれ。
北海道大学工学部環境社会工学科卒。
2015年戸田建設株式会社入社。
2019年9月から史跡鳥取城跡中ノ御門表門等復元工事に現場代理人として配属。

※撮影のためにマスクを外している場合があります。

社内でも珍しい 文化財の復元工事

編集部 お城の復元工事とはどんな内容ですか。

築館 明治時代の廃城令により石垣のみが残った鳥取城を復元しようというプロジェクトが現在進んでいます。まずはお堀に架かる擬宝珠橋が完成し、次に表門を復元することになりました。その建設とあわせて周辺整備工事を行っています。

編集部 現場を一人で担当しているのですか。

築館 はい、現場代理人兼監理技術者という立場です。これまで携わってきた鉄道の高架工事や下水処理施設とはまったく異なる現場ですが、社内でも珍しい文化財の復元ということにやりがいを感じています。

編集部 プレッシャーも大きかったのでは。

築館 もちろんありましたが、1年間は伝説の大所長と呼ばれる方に指導役に付いていただきました。業務に関することはもちろん、働く姿勢、物事への対応の仕方、所長としてあるべき姿など、多くを学ばせてもらいました。

何でも吸収するには 「こだわらない」ことが大切

編集部 どんどころにやりがいを感じますか。

築館 文化財の工事は「思いを形にする」という色合いが濃く、思い入れや残したい「物語」は人によって異なります。表門の工事では着工までに時間をかけて関係者が定期的集まり、細かいことを決めていきました。発注者、設計者、施工会社、協力会社、みんなで立場を超えて意見を交わしながら一つのものを造っていくことに、あ



▲頼りになる職長さんと打ち合わせ

あこれがものづくりの醍醐味だなと感じました。その中でチームワークが徐々に育まれていくことも感動でした。20代にして本当に貴重な経験をさせてもらったと思います。

編集部 その経験は今後も生かせそうですか。

築館 はい。ぜひまた文化財工事もしてみたいですが、まったく違う現場に配属されても、ここで得たものを生かして自分がどんなふう活躍ができるか楽しみにしています。

編集部 仕事をする上でのモットーは何ですか。

築館 よい意味で「こだわらない」こと。こだわり過ぎると何も吸収できなくなってしまいます。固定概念を捨てて臨むこと、格好悪く失敗するのを恐れないことが大事です。実務面では、自分のところでボールを止めないよう心がけています。また吸収したことはすぐにアウトプットして周り共有し、その情報が合っているかを確認することで知識の定着を図っています。

編集部 成長が著しく頼もしいですね。

築館 やはり所長を経験したことが大きいと思います。実は入社して2年間ぐらいは怒られて

現場情報

■工事名称：史跡鳥取城跡
中ノ御門表門等復元工事
■工事場所：鳥取市東町二丁目 鳥取城跡内
■発注者：鳥取市 教育委員会事務局 文化財課

■施工者：戸田建設株式会社
■工期：2019年11月8日～2021年3月15日
■設計・監理：株式会社文化財保存計画協会



◁礎石上で柱を据える位置を確認中。木工の墨出しは精度が命

◁復元のシミュレーション動画と自社初の3Dプリンターによる試作品を前に



▷柱を立てる前に立柱式を行い、靱い清めを行った



△瓦の紋には史料から葵紋を採用

◁古い石垣に「猪目(いのめ)」と呼ばれるハート形の石が!

▷石垣に接する寄掛柱は石の形に合わせて少しずつ加工していく



ちゃんと正しく努力すれば 仕事は楽しくなる

編集部 そもそも建設業界へはどうして?

築館 学生時代は人力飛行機を作っていて、そこでものづくりの楽しさを知ったのですが、土木分野を選択したのは恣意的でした。思えば祖父が建築家だったので、建設業界には縁があったのかもしれませんが。ある方から「築館とは館(城)を築くといういい名前だね」と言っていたので、とてもうれしかったことがあります。

編集部 つまり最初からめざしていた道ではなかった?

築館 そうですね、目の前のことを一生懸命やっていたらこまごま来た、という感じです。だから「やりたいことが見つからない」という学生の皆さんも、ハツラツと生きていけば大丈夫だと思います。ちゃんと正しく努力していれば認めてくれる人がいて、思いがけずいい方向に転がっていきます。とりとめのないことをやっているようでも自分の中に蓄積されるものは必ずあって、ある日突然



▲測量後に大工さんと現地で墨を確認

編集部 負のスパイラルから脱したのですか。

築館 まさにそんな感じでした。それから仕事が好きになり、正のスパイラルでどんどん上昇し始めたような気がします。

それがカチッと組み合わせられます。そんな瞬間はワクワクしますよ。

編集部 実体験に基づく心強いメッセージですね。最後にリフレッシュの仕方を教えてください。

築館 この仕事を通してお城に興味を持ち、ときどきお城巡りを楽しんでいます。門の完成が近づくとついでイベントのお手伝いなどで忙しいのですが、ゆっくり地元の長野に帰省できたときは松本城にも足を運んでみたいです。



▲古式にのっとった上棟式を開催



2020年度 定時総会 (2020年6月 書面開催)

新型コロナウイルス感染症の拡大により「書面による承認」という形で開催致しました。

2019年度の活動報告

1. 公共工事の円滑な実施

中国地方整備局関連の活動

- 本部との諸課題に関する意見交換会の実施
- 支部との諸課題に関する意見交換会の実施
- 中国地方建設技術開発交流会への参加
- 建設技術フォーラム2019in広島への参加
- 建設業魅力発信会議・若手育成会議への参加
- 生産性向上研究会・WG会議への参加

地方公共団体関連の活動

- 広島県・広島市道路利用者会議への参加
- 広島県女性技術者交流会への参加

2. 請負契約制度の改善及び積算の適正化

契約積算委員会の開催と中国地整との意見交換会
総務企画委員会の開催と中国地整との意見交換会

3. 労働・環境対策の推進

安全点検の実施(本部合同・支部独自の点検)
安全講習会の実施(交通・火災・地下埋・環境)
その他活動(施設見学会)
中国地方復旧等事業円滑化官民ネットワーク会議への参加

4. 資材対策の推進

中国地区資材研究会の開催
建設資材対策中国地方連絡会への参加

5. 技術開発の促進

中国地方建設技術開発交流会への参加
中国地方建設現場生産性向上研究会・WGへの参加

6. 広報活動の推進(魅力発信・担い手確保の活動)

広報誌の発刊
市民現場見学会の開催
出前講座開催

7. 電力関係活動

電気記念日行事への参加

8. 災害対策等への対応

災害対策要領・災害緊急連絡表の改訂
災害時供出可能建設資機材の保有状況調査の実施
災害訓練の実施
日建連本部と支部防災担当者意見交換会への出席

2020年度の事業計画

1. 支部組織の運営

支部組織は運営会議(支部長1名、副支部長4名、運営委員17名)
及び監査委員2名の役員と下部に5委員会と事務局により運営する。
なお、外部部会として1研究会の活動を支援している。

2. 支部活動の具体的な事業計画

- 災害対策等への対応
- 公共工事の円滑な実施
- 安全・環境対策の推進
- 請負契約制度の改善及び積算の適正化
- 技術開発の促進
- 広報活動の推進

2020年度 中国地方整備局と日本建設業 連合会の中国地区意見交換会

週休二日の実現と建設キャリアアップシステムの普及へ 命運を賭けた積極的な活動の継続

新型コロナウイルス感染防止を踏まえ、テレビ会議方式により開催され、
自治体関係機関、オブザーバーの皆様にはライブ配信にて参加いただきました。



日時
2020年
5月28日(木)

出席者
中国地方
整備局
…9名
日建連
…10名
関係機関
…10名
合計29名



日建連の活動方針

1. 働き方改革・担い手確保と生産性向上
2. 社会資本整備の計画的、着実な推進
 - 国土強靱化の継続的推進
 - ストック効果を重視した社会資本の戦略的な整備
 - i-Constructionなど新技術の開発と実装の推進
3. 国民の信頼に応える建設産業
 - 災害対応力の強化
 - 広報の強化

意見交換するテーマ

1. 新型コロナウイルス感染症への対応
2. 働き方改革・担い手確保
 - 週休二日の実現に向けた環境整備
 - 適切な工期設定と工程管理
 - CCUSの活用促進
3. 生産性向上への取り組み
 - 業務の効率化
4. ブレイクスルーするための新たな展開



2020年度 中国地方整備局企画部と 日本建設業連合会中国支部との意見交換会

支部の最も重要な活動であることから、完全な新型コロナウイルス感染防止対策を実施することで、
対面方式による開催としました。



日時
2020年12月10日(木)

会場
ANAクラウンプラザホテル広島

出席者
中国地方整備局…7名
日建連…14名
合計21名

意見交換するテーマ

1. 現場の実態調査結果について
2. 新型コロナウイルス感染症への対応
3. 働き方改革・担い手確保への取り組み
 - 週休二日の実現に向けた環境整備
 - 適切な工期設定と工程管理
 - CCUSの活用促進
4. 建設産業の生産性向上
 - 業務の効率化推進
5. 品確法の的確な運用等
 - 設計変更・工期変更への対応
 - 技術者の確保(若手・女性技術者の登用)



2020年度 その他の活動

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い
ほとんどの支部・外部行事ともに書面開催又は中止となりました。

書面開催

日建連中国支部と広島県・広島市との意見交換会
中国地方土木技術者育成会議
災害対策訓練(鳥取県・本四高速株式会社)

対面・Web方式

中国地方整備局と契約積算委員会との意見交換会
建設業社会保険加入推進・処遇改善連絡協議会
中国地方技術開発交流会
中国地区魅力発信推進連絡協議会
広島県・広島市道路利用者会議

見学会

親子見学会: 広島高速5号線シールドトンネル掘削他工事(親子20組・子供26人 大人25人)



世界遺産 「原爆ドーム」を 未来へ守り継ぐ

～第5回保存工事～

このたび第5回目を迎えた原爆ドームの保存工事

(2020年6月～2021年3月)。

核の恐ろしさを伝え、恒久平和を願う世界遺産を守り継ぐ。

そのミッションにける思いを、未来へのメッセージとともに、

施工を担当した清水建設の高橋伸二さんに聞きました。



Profile

清水建設(株)広島支店建築部
工事長 高橋伸二さん

広島県生まれ。
1982年清水建設(株)入社。
中国地方を中心に、市営高層アパートや
酒蔵の改修など、数多くの仕事を通して
地域に貢献。過去の原爆ドームの保存
工事にも携わり、第5回で所長に就任。
一級建築士。



2021年1月8日撮影

奇跡的に倒壊を免れた 平和の記念碑

ゴトゴトと市電が走り、多くの人が行き交う広島市中心部。川と緑に映えて原爆ドームは静かに立っています。すっかり見慣れた光景ですが、当然ながら最初からこの姿だったわけではありません。

1945年8月6日、一発の原子爆弾によって広島市街の建物は一瞬にして倒壊しました。その中で奇跡的に倒壊を免れたのが、「広島県産業奨励館」のドーム中心部。もともとは県の産業発展に貢献するために1915年に建てられたもので、チェコの建築家ヤン・レツルが設計しました。レンガ及び鉄筋コンクリート造の3階建て、正面中央階段室を5階建てドームにした大胆なヨーロッパ風建築でした。

戦後はほぼ被爆後の状態のまま保存され、天蓋の残骸が傘状になっている姿から、いつしか原爆ドームと呼ばれるようになりました。時代を超えて核兵器の廃絶と世界の恒久平和の大切さを訴え続けるものとして、1996年には世界遺産に登録されています。



広島市公文書館所蔵

旧広島県産業奨励館の規模

桁	行：正面南北壁真々	45.95m
	背面南北壁真々	42.30m
梁	間：南北両端間東西両端壁真々	28.48m
軒	高：正面中央 旧地盤面から軒蛇腹上端まで	16.61m
	ドーム 同	19.91m
	平部 同	13.94m
棟	高：ドーム 旧地盤面からドーム先端まで	24.64m
	平部 旧地盤面から棟天まで	17.75m
	建築面積	1,002.01㎡

破壊された状態を保つ 特殊な保存工事

可能な限り、破壊された当時の状態を保つ。原爆ドームにはそんな特殊な条件が求められます。1967年に行われた第1回保存工事以来、鉄骨による補強、樹脂注入による形状維持・保全、劣化対策（雨水や地震への対策）などが施され、崩落や落下の危険がある箇所は取り除かれてきました。当初は、平和を願う国内外の多くの人たちからの募金をもとに工事が行われました。

第5回保存工事では、ドーム部分やらせん階段の鋼材の塗装をはじめ、壁のレンガの目地、窓部分の方立（ほうだて）のひび割れ、補強金物なども補修。オリジナル鋼材は、手作業で丁寧に錆が落とされ、大学教授などによる保存委員会の意見をもち、元に近いと推定される茶系統の色に塗り直されました。

また、今回は外壁を覆うことなく鋼製の足場が組まれ、塗装が飛散するおそれがある場合のみ周辺をシートで覆い、作業を終えるたびに取り外されました。足場も壁からのつなぎをとらず、独立して組み立てられています。



上／今回新たに塗り直された原爆ドーム上部にて。
左上／内壁が崩壊したままの姿で残されている。
右上／地面に散乱した遺構を保護するため土嚢を使用している。
右下／パイプ材のみで構築された足場。原爆ドームには一切負荷はかかっていない。



働き方改革の深化と 魅力ある建設産業を目指して

～「建設キャリアアップシステム普及促進」・「週休二日の定着促進」の2大事業への取り組み～

皆様には日頃より日本建設業連合会中国支部の活動に多大なご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

広報誌『建設中国』第36号の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

2020年1月に国内で感染が確認された新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、私たちの日常生活や企業活動は今なお大きな影響を受けています。一旦収まる傾向も見えましたが、2020年11月に入り、第3波が国内全域に急拡大し、新しい年に入った今も拡大が継続しています。建設業界においても大きな影響を受けているところですが、コロナ禍にあっても、エッセンシャルワーカーとして社会資本の整備を通じて国民の安心・安全と社会・経済活動を支えるため、感染防止への対処方針やガイドラインに沿った様々な感染防止対策を実行しながら事業の継続に努めているところです。

さて、2020年も気候変動の影響により熊本豪雨災害が発生し多くの人が被災されました。この様に、ここ数年は連続して全国各地において、激甚化・頻発化した自然災害が発生しており、政府は、新たに「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」を閣議決定し、流域治水対策をはじめ、道路ネットワークの機能強化、インフラ施設の耐災害性強化対策、老朽化対策、施策を効率的に進めるためのDXの推進など、取り組みのさらなる加速化、深化を図っていくこととされました。我々建設業界としても一層の対応力強化に取り組み、質の高いインフラ整備を継続することが重要だと考えています。

一方、建設業界においては、担い手の確保を目的とした「働き方改革」と「生産性革命」による処遇の改善に向け、官民一体となって取り組んでいます。日建連では、これら両面から、「週休二日の実現」と「建設キャリアアップシステムの普及」という2大事業に業界の命運を賭けた取り組みを進めており、「週休二日の実現」では、建設業に対する時間外労働の罰則付き上限規制の適用が3年後に迫る中、これまで進めてきた、週休二日実現行動計

画に基づく4週8閉所の実現の達成に向けて、課題の検証を進め、着実に浸透するよう努めてまいります。

また、「建設キャリアアップシステムの普及」により安定的な運営の実現とさらなる処遇の改善を進めるため、「国土交通省官民施策パッケージ」を踏まえた「建設キャリアアップシステムの普及・活用に向けた日建連の推進方策」を策定し、従来の取り組みに加え「建退共制度の完全実施」と「さらなる建設キャリアアップシステム普及促進」に係る2つの方針を決定し、新たな取り組みを進めているところです。

当支部会員企業においても、それぞれの現場で担い手の確保に向けた、「働き方改革」と「生産性向上」を積極的に進め、「週休二日の実現」を目指した環境整備・「建設キャリアアップシステムの普及促進」に向け新たな取り組みを進め、処遇の改善に取り組んでいます。これら自助努力に加え、適切な工期や技能者の労務賃金の確保など環境整備について、発注者のご指導とご協力をいただき、さらに具現化すべく取り組みを進めてまいります。

また、当支部では、例年、中国地方整備局、広島県、広島市と公共工事の諸課題や建設業に関わる様々なテーマで意見交換を実施しております。次世代の建設業を担う働き手確保のために、地域特有の課題についても共有いただき、様々な課題解決に向けて官民連携していくことでご理解をいただいているところですが、「週休二日の実現」や「建設キャリアアップシステムの登録・普及促進」に向け、地域の建設業界も含めさらなる浸透に向けてのご指導、ご支援をお願い申し上げます。

また、担い手不足の解消に向けた、週休二日の実現とキャリアアップシステムの普及促進への取り組みにより、処遇が改善され、将来、若者や女性の建設業への入職が増加するよう、今後も様々な形で建設業の魅力発信に努めてまいりますので、当支部の活動に対し、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人
日本建設業連合会
中国支部 支部長

三木 正道
みき まさみち



「最後の砦」として、 やるべきことを正しくやる

意味を理解しながら
適切な工法を模索

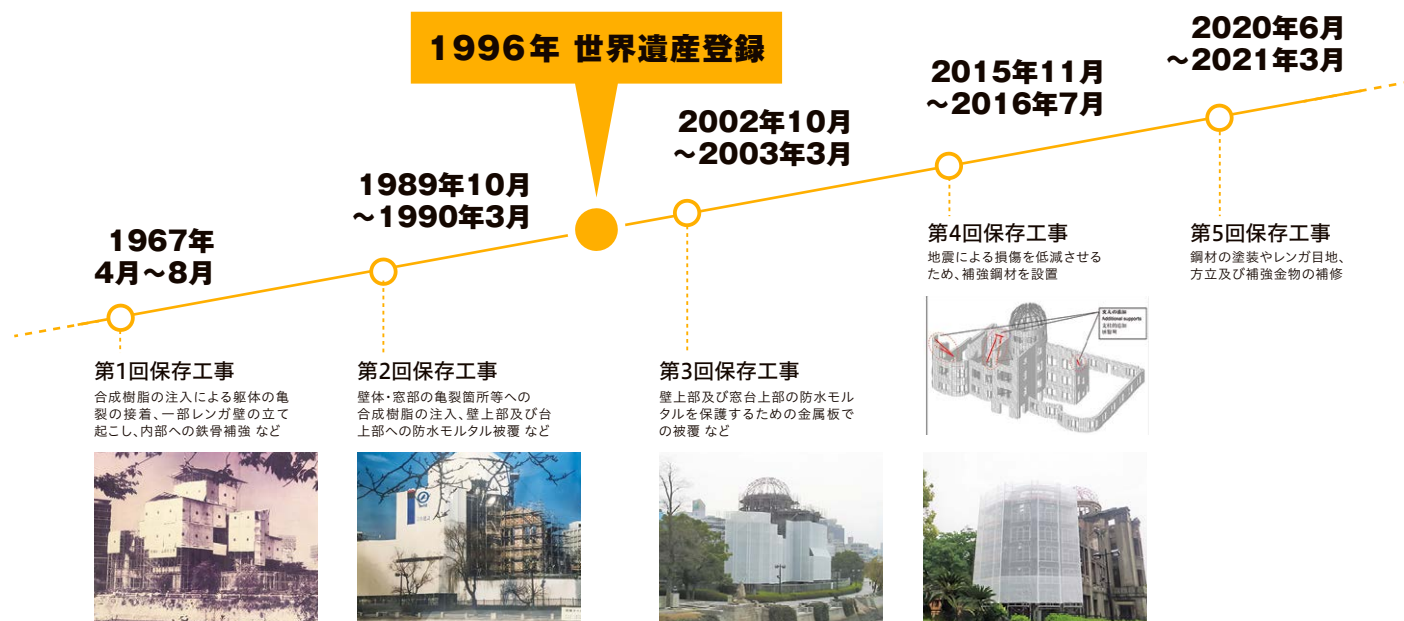
「第1回の保存工事はまさに手探りの状態だったのではないのでしょうか。樹脂を使った工法はあのころは初めての挑戦だったと思います」と、清水建設広島支店建築部の高橋伸二さんは話します。清水建設では、これまですべての保存工事を手がけてきました。第2回の工事を間近で見て、第4回で見積などを担当した高橋さんが、第5回で所長という大任を務めることになりました。

「過去の工事では、外科手術でいえば悪いところを除去してポルトを入れるような治療法もありました。今回は齡100歳を超えた原爆ドームに少しでもラクになってもらおうという、いわば持病とうまく付き合っていくような治療です」

ひび割れの補修にも樹脂を使わず、無機系材料(セメント)を使用。しかし理論上はわかっている、実際の施工でそれがうまくいかはわかりません。水を浸み込ませないことが目的なら、表面だけでいいのか。しかし空洞があれば脆弱部分になるのではないかと。では、中までちゃんと入れるにはどうす



保存工事の歴史



ればいいか。しかも低圧力で…。こうした課題を解決するためにモックアップ(模型)を作って試験施工を行いました。

「適切な充填方法を模索しながら、人間の五感も頼りに慎重に作業を進めました。私たちはいわば最後の砦。ただやるのではなく、何のためにやるのか、意味を深く考えてやるのが大切です」



左上/今回ヒビ割れ箇所無機系セメント材充填状況。
左下/第2回保存工事 ヒビ割れ充填状況(樹脂注入)。
右上/今回大きくヒビ割れていた箇所。
右下/同上ヒビ割れ無機系セメント材充填状況(オリジナルイメージに復元)。

「建物を保存する」という
思いを新たに

高橋さんは、あるとき原爆ドームの見方が変わりました。それは、円柱などの凝った装飾のもとに人々が集まっている昔の写真を見たときのことです。

「それまでは建物というイメージがあまり湧かなかったのですが、古い写真を見ることで、ああ建物を保存しているんだなと強く感じる事ができました。瓦礫に見える壁にも、曲線が取り入れられているなど、よく見ると発見があります。元安川に面して玄関があり、ここに立つと階段や中庭の吹き抜けを通して一直線に向こうが見える。モダンな建物であることがよくわかります」



苦労と表裏一体で、やりがいも実感する日々です。図面にはない部分でも、現場レベルで問題を発見すれば、保存委員会や市に対して提案も行っています。

「2021年1月現在、全体としては60%ほどの進捗状況です。『やらないといけないことは、しっかりやる』という思いで、工事の完了に向けて気持ちを引き締めています」



左/内壁のレンガは崩れやすいため、今後対策を講じる必要がある。
右/外壁補修の際、見た目をできるだけ近づけるために、コンクリートと石の混合バランスを検証。

未来の保存工事を
担う人たちへー

これからは原爆ドームは、人類共通の平和記念碑として受け継がれていきます。最後に、それを託していく未来の建設業界の人たちへのメッセージを聞きました。

「本来は技術を伝承していくことが重要ですが、原爆ドーム保存工事の難しさは、毎回やるのが違うところにある。もちろん今も若いメンバーと一緒に動いており、今回はこういうことをやったという記録を残し、伝えていきます。一方で、保存工事を新しい視点でとらえることも大切です。その建物に合った保存方法を、最大限考えてやる。そのためには図面にあるからやる、やれと言われたからやる、というのではなく、自由な発想で挑戦してほしいと思います。『君だからできた』と評価されるような仕事をしてください」

高橋さんは何度も「私たちは最後の砦」という言葉を繰り返しました。もともとあるものをしっかり残すことで、次に何かができる可能性につながる。その言葉にはそんな意味と同時に、「自分にしかできない仕事をしたい」という技術者としての誇りが感じられました。

